

経営体の概要

- ・所在地：埼玉県秩父市
- ・経営体名：（株）楽えん
- ・栽培作物・作付面積：果樹 1 ha（おうとう200本・ブルーベリー160本・ラズベリー100本・ブルーコン33本・ぶどう7本）
- ・従業員数：役員 4 名・社員1名・臨時雇用5名（令和 6 年 5 月現在）

導入技術

- ・ロボモア KRONOS MR-300（和同産業(株)製）



ロボモアKRONOS MR-300

管理作業に時間が割ける

導入経緯

- （株）楽えんは、他業種から定年を機に就農した農家子弟等4名が、観光で訪れる多くの人に地域の魅力を知ってほしいという思いで立ち上げた農業法人である。
- 令和4年4月に観光農園、キャンプ場、カフェを併設した「CHICHIBU FARMSTAY」をオープンするにあたり、おうとう雨除けハウス 3 棟での除草作業の省力化を目的に、ロボット型草刈機ロボモア1機を導入した。

取組の特徴・効果

- 開園時から導入しており従来の労力との比較はできないが、3棟（計3600㎡）の雨除けハウスで、年間8か月間（3～10月）の稼働期間である。
- 稼働時間は、充電時間も含め 1 棟あたり 2 ～ 3 日で、機械の作業時間は1,000㎡あたり 8 ～ 10 時間、稼働期間中は各棟毎週1回除草していることになる。
- 電気代は1,000㎡あたり1か月約400円である。
- 24時間体制、週1回の除草をロボットが行うことにより、職員は栽培管理や来客対応、運営会議等に時間を割くことができる。また、猛暑の中の除草作業を避けることで、職員の熱中症対策にもつながっている。
- 今後は、自動灌水システムの導入についても検討していく。